

7 宿泊税を活用する事業

京都市ホームページ
令和5年度予算における宿泊税を活用する事業

5年度の宿泊税は、市民・観光客双方にとって安心・安全な受入環境の整備や、京都観光における更なる質・満足度の向上などに活用し、京都観光の力強い回復と、市民生活と調和した持続可能な観光の確立に向けて取り組む。

【事業費 85.4 億円（うち宿泊税 35.5 億円）】

※①～⑭に記載の数値は事業に要する経費 [単位：百万円]

1. 市民・観光客双方にとって安心・安全な受入環境の整備

【事業費 39.1 億円（うち宿泊税 21.9 億円）】

- ① 修学旅行の受入環境整備 76
- ② 安心安全なM I C Eの徹底 152
- ③ ウイズコロナ社会で安心して楽しめる観光の充実 62
朝・夜観光など幅広い京都の魅力向上事業 など
- ④ 災害時等における市民・観光客等の安全対策 399
119 番通報等における多言語通訳体制、帰宅困難者対策 など
- ⑤ 交通バリアフリー対策 377
道路のバリアフリー化 など
- ⑥ 鉄道施設整備助成事業 81
- ⑦ 移動利便性の向上・観光地等交通対策 587
- ⑧ 無電柱化事業 358
- ⑨ 街路樹の育成管理など 1,681
- ⑩ 観光案内事業の運営、ユニバーサルツーリズム普及促進 139

2. 京都観光における更なる質・満足度の向上 【事業費 26.0 億円（うち宿泊税 7.0 億円）】

- ⑪ 京都観光行動基準の実践による市民生活と観光の調和に向けた取組 23
地域の実情に応じたマナー対策等の強化 など
- ⑫ 観光事業者の経営強化・魅力発信 33
旅館をはじめとする宿泊施設の経営強化・魅力発信支援 など
- ⑬ 観光客のニーズに応じた京都の魅力の向上、情報発信の更なる強化 93
持続可能なインバウンド観光促進事業 など
- ⑭ 岡崎や梅小路等の魅力向上による新たな魅力の創出 2,449

3. 京都ならではの文化振興・美しい景観の保全 【事業費 18.7 億円（うち宿泊税 5.1 億円）】

- ⑮ 文化財の保全・継承に向けた取組 481
- ⑯ 文化・伝統産業の担い手育成・魅力発信 238
- ⑰ 文化芸術によるまちづくりに向けた東九条地区歩行空間等整備事業 502
- ⑱ 京町家の保全及び継承に関する取組 145
- ⑲ 歴史的景観の保全に向けた取組等 502

※宿泊税課税・徴収経費 【事業費 1.6 億円（うち宿泊税 1.6 億円）】

※表示単位未満を端数処理しているため、合計が一致しない場合がある。

宿泊税を活用した事業

京都市ホームページ
令和4年度宿泊税を活用した事業

参考

(単位：百万円)

事業名	宿泊税充当額
1 市民・観光客双方にとって安心・安全な受入環境の整備	1,818
安心・安全なM I C Eの徹底	128
ウィズコロナ社会で安心して楽しめる観光の充実	50
災害時等における観光客等の安全対策	98
交通バリアフリー対策	17
鉄道施設整備助成事業	95
移動利便性の向上・観光地等交通対策	56
無電柱化事業（河原町通など）	51
公衆トイレ清掃・維持管理、道路除草等	1,206
観光案内事業の運営、ユニバーサルツーリズム普及促進	117
2 京都観光における更なる質・満足度の向上	452
京都観光行動基準の実践による市民生活と観光の調和に向けた取組	20
観光事業者の経営強化・魅力発信	9
観光客のニーズに応じた京都の魅力の向上、情報発信の更なる強化	38
岡崎や梅小路の魅力向上による新たな魅力の創出	385
3 京都ならではの文化振興・美しい景観の保全	705
文化財の保全・継承に向けた取組	312
文化・伝統産業の担い手育成・魅力発信	151
文化芸術によるまちづくりに向けた東九条地区歩行空間等整備事業	35
京町家の保全及び継承に関する取組	48
歴史的景観の保全に向けた取組等	159
4 宿泊税課税・徴収経費	71
宿泊税課税・徴収経費	71
合計	3,046

(注) 宿泊税充当額には、翌年度繰越分を含めている。

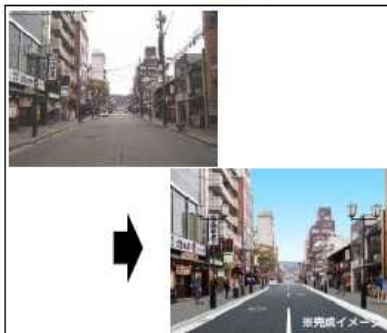
令和4年度 宿

京都市ホームページ
令和4年度宿泊税を活用した主な事業

朝・夜観光など幅広い京都の魅力向上



無電柱化の推進



地域の実情に応じたマナー対策等の強化



京都国際マンガアニメフェア(京まる)



小・中学生による伝統文化体験



市指定文化財等助成事業



金沢市ホームページ
宿泊税を活用した施策(令和5年度)

Ⅷ. 宿泊税の活用

宿泊税収入額

(単位:千円)

110,000

	(事業費 活用額)	
1. まちの個性に磨きをかける歴史・伝統・文化の振興	371,490	
①歴史的なまちなみや景観の保全、建築文化の発信	226,444	
新 まちの格を高める広告景観の形成をめざし、金沢らしい優れた広告物を調査検討	62,979	
新 用水の新たな活用方法の発信等に向けて、商店街等と連携した社会実験を実施		
金澤町家の宿泊施設としての再生への支援 など		
②伝統芸能の支援	18,790	
芸妓文化や茶屋文化の継承への支援		
茶屋文化継承のため施設改修を支援		
③伝統文化・伝統工芸の振興	19,075	
新 卯辰山工芸工房で加賀藩御細工所の研究成果等を特別公開		
改 無形文化財の保存継承に向けた伝承者の育成		
全国学生大茶会の開催 など		
④文化・スポーツ施設の充実	117,200	
新 金沢21世紀美術館の中長期修繕計画を策定		
文化施設及びスポーツ施設の再整備に備え、基金を積み立て など		
⑤食文化の継承・振興	8,400	
全日本高校生WASHOKUグランプリの開催 など		
2. 観光客の受入れ環境の充実	179,963	
①インバウンド対策の強化	150,263	
県市協調による中央観光案内所の運営 など	46,620	
②宿泊施設等のおもてなし力の向上	60,500	
おもてなし力を高める宿泊施設の改修を支援 など		
③夜の観光の充実	3,500	
新 新たな夜間景観アクションプログラムを策定		
④誘客の推進	39,643	
新 アメリカの富裕旅行者層をターゲットに県市連携でプロモーションを展開		
新 金沢の文化の魅力を伝える質の高い文化観光モニターツアーを実施		
新 北陸新幹線金沢・敦賀間の開業に向けた機運醸成		
コンベンションの開催を支援 など		
3. 市民生活と調和した持続可能な観光の振興	355,762	
①持続可能な観光振興推進計画2021及びSDGsツーリズムの推進	293,078	
SDGsツアー認証制度の運用・周知	2,500	
持続可能な観光振興推進会議の開催		
②住む人・訪れる人双方の交流促進	9,000	
スポーツ大会参加選手と地域との交流事業を実施 など		
③交通混雑の緩和と安全な歩行環境の確保	54,849	
新 まちなか駐車場案内システムの更新		
金沢MaaSの推進 など		
④歩いて楽しめるまちなかの実現	143,500	
改 公共空間の利活用に向けて、地域団体等と連携した社会実験を実施		
金沢駅東広場の環境整備 など		
⑤公共シェアサイクルの利用促進	32,400	
「まちのり」の運営		
⑥まちの美化・地域との共存	36,132	
改 まちなかの鳥害対策の強化		
特定屋内広告物及びのぼり旗掲出の適正化に向けた周知・啓発 など		
⑦特定地域への観光客集中の緩和	11,850	
金沢港周辺地域の活性化 など		
⑧安全・安心の確保	2,847	
宿泊施設の従業員に対する救命講習会の開催 など		
4. 徴税経費	40,215	
徴収事務費、特別徴収事務交付金 など	40,215	
活用額 計	710,000	

3 税収の使途

次の3つを柱とした事業に活用

- (1) まちの個性に磨きをかける**歴史・伝統・文化の振興**を図る施策
- (2) **観光客の受入れ環境の充実**を図る施策
- (3) **市民生活と調和した持続可能な観光の振興**を図る施策

▶ 各年度の活用額

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
(1) 歴史・伝統・文化の振興	331,856	130,413	119,642
(2) 観光客受入れ環境の充実	144,050	239,326	127,832
(3) 市民生活と調和した持続可能な観光の振興	146,062	116,815	215,157
徴税経費	42,255	41,954	28,264
計 (※)	664,223	528,508	490,895

※ 令和2年度において宿泊税収入の減が見込まれたことから、令和元年度決算における剰余分を繰越金として、令和2年度の事業費に充当している

3 税収の使途

(1) まちの個性に磨きをかける歴史・伝統・文化の振興を図る施策 [1/2]

【これまでの主な取り組み】

①歴史的なまちなみや景観の保全、建築文化の発信

- ・ 金澤町家の宿泊施設としての再生の支援（歴史都市推進課）
- ・ 街路樹等雪吊り魅力向上事業費（緑と花の課）
まちなかの街路樹や公園等の樹木への雪吊りを拡充し、
金沢らしい冬の魅力を創出

②伝統芸能の支援

- ・ 芸妓文化継承支援費（文化政策課）
芸妓の後継者育成や稽古、新人芸妓等に対する支援を実施
- ・ 茶屋文化継承事業費補助（産業政策課）
金沢の固有の茶屋文化を後世に継承するため、施設改修等を支援



[金澤町家再生活用事業]

3 税収の使途

(1) まちの個性に磨きをかける歴史・伝統・文化の振興を図る施策

[2/2]

【これまでの主な取り組み】

③伝統文化・工芸の振興

- ・ 宿泊施設の工芸品展示への支援（クラフト政策推進課）

宿泊施設における工芸品の展示コーディネート等を実施

- ・ 全国学生大茶会開催費（文化政策課）

茶の湯文化や茶室の魅力を発信するため、
全国から茶道部の学生を招聘し、茶会を開催

④文化・スポーツ施設の充実

- ・ 文化施設における展示機能の充実（文化政策課）

⑤食文化の継承・振興

- ・ 全日本高校生WASHOKUグランプリの開催（産業政策課）



[全国学生大茶会開催]

3 税収の使途

(2) 観光客の受入れ環境の充実を図る施策

【これまでの主な取り組み】

① インバウンド対策の強化

- ・多言語観光サイトによる情報発信（観光政策課）

② 宿泊施設等のおもてなし力の向上

- ・おもてなし力を高める宿泊施設等の改修への支援（観光政策課）

③ 夜の観光の充実

- ・金沢らしい夜間景観の創出（景観政策課）
公共空間等における計画的な照明設備の整備を推進

④ 誘客の推進

- ・コンベンション誘致推進事業費補助（観光政策課）
金沢で開催されるコンベンション開催経費に対し開催費を一部助成



[夜間景観創出]

3 税収の使途

(3) 市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策

[1/3]

【これまでの主な取り組み】

①持続可能な観光の振興計画及びSDGs ツーリズムの推進

- ・「金沢市持続可能な観光振興推進計画2021」（観光政策課）
市民生活と調和した、持続可能な観光振興を図るための観光施策を推進
- ・責任ある観光の推進（観光政策課）
ウェブを活用して金沢らしい旅行スタイルを発信し、
観光客の満足度と市民の幸福度を高める
- ・金沢マイクロツーリズム推進事業の実施（観光政策課）
地元の方に金沢らしいコンテンツを体験してもらうことで
市民の地元観光への関心を高める



[金沢マイクロツーリズム推進事業]

②住む人・訪れる人双方の交流促進

- ・近江町市場「市民の台所」ふれあい推進事業（商工業振興課）
近江町市場に隣接する十間町広場に交流スペースを設置

3 税収の使途

(3) 市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策

[2/3]

【これまでの主な取り組み】

③交通混雑の緩和と安全な歩行環境の確保

- ・都心軸交通円滑化対策強化費（交通政策課）

啓発員を配置し、都心軸の交通円滑化及び安全な歩行環境を確保

④歩いて楽しめるまちなかの実現

- ・広場等公共空間活用促進事業費（企画調整課）

広場、公園、道路等の公共空間において官民が連携した有効活用を検討、促進し賑わいを創出

⑤公共シェアサイクルの利用促進（交通政策課）



[広場等公共空間活用促進事業]



[公共シェアサイクル「まちなのり」]

3 税収の使途

(3) 市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策

[3/3]

【これまでの主な取り組み】

⑥ まちの美化・地域との共存

- ・ 快適で美しいまちづくり指導強化費（市民協働推進課）
- ・ 無許可・不適合広告物の掲出への調査・指導強化（景観政策課）
- ・ 屋内広告物の規制の検討及びのぼり旗掲出基準の策定（景観政策課）

⑦ 特定地域への観光客集中の緩和

- ・ 金沢港周辺地域における活性化事業の実施（企画調整課）

金沢港周辺地域の活性化に向けてシャトルバスの運行やモデルコースの構築を行う

⑧ 安全・安心の確保

- ・ 宿泊施設の従業員に対する救命講習会の開催（消防総務課）

倶知安町ホームページ
令和5年度宿泊税を財源とした事業・事業概要・予算額

■令和5年度 宿泊税を財源とした事業一覧

施 策		個 別 施 策		事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	事業費の内訳			担 当 課
							宿泊税	その他特定財源	一般財源	
リゾート地としての 質の向上		ニセコ・羊蹄山の 環境保全		羊蹄山管理保全事業	羊蹄山麓5町で構成する羊蹄山管理保全連絡協議会を通じて登山者の安全を確保するための避難小屋管理経費や案内パンフレット作成を行うほか、羊蹄山・半月湖の環境保護や周辺施設の維持管理を行う。	1,738	1,600		138	
				ニセコアンヌプリ地区なだれ事故防止対策協議会負担金 (なだれ・山岳事故防止対策事業)	倶知安・ニセコ両町やニセコアンヌプリに立地する各スキー場などで構成するニセコアンヌプリ地区なだれ事故防止対策協議会の負担金。ニセコルールの啓発やニセコなだれ情報の強化を図っている。風速計の設置が進み観測体制が強化されているとともに、今後はなだれ情報発信体制の強化・継承を行っていく。	2,894	2,600		294	
				羊蹄山登山口看板取替事業	国道5号線沿いにある羊蹄山倶知安ひらふコース・半月湖案内看板が老朽化し、景観の阻害要因にもなるため、既存看板を撤去し新規看板を建設する。	4,235	3,900		335	
リゾートタウンとしての 魅力の向上		“観光インフラ”の 整備		地域DMO支援事業	倶知安町における観光の旗振り役を担っていく地域DMO(倶知安観光協会)を下支えし、受入環境整備やコンテンツ造成、観光人材育成、繁閑差解消、コロナ禍からの回復を目指した各種観光振興事業を行うほか、地域DMOの組織体制強化を図る。管理費の補助対象経費を定額補助し事業費の一定割合を補助。	120,509 (181,162)	108,538	1,500	10,471	観光商工課
				内訳 ※内訳金額は町から地域DMOへの補助金の額	人件費	地域DMOの事務担当者の人件費。	27,046			
					事務費	地域DMOの事務経費や計画管理経費。	22,332			
					案内費	JR倶知安駅案内所およびニセコひらふウェルカムセンター案内所の運営経費および案内用印刷物作成費。	9,900			
					着地型連携事業	特に繁閑差の解消に資する既存コンテンツの磨き上げや新規コンテンツの造成を行う事業。マウンテンバイクトレイルの盛り上げやアドベンチャータベルの推進が見込まれる。関連する事業者を横断的に連携させる仕組みをつくり地域全体の魅力を向上させていく。	3,500 (7,700)			
					サスティナブル事業	JクレジットによるCO2削減と森林保全、ガイド育成による観光客受入の質的向上や環境調査、観光の住民理解促進事業により、持続的な観光振興に資する事業。	3,500 (5,000)			
					サマーコンテンツ事業	繁閑差対策としてのサマーステイ事業費。ワーケーションの定着を図るほかサマーステイで滞在する方々への新たなコンテンツ提案も行う。	2,400 (5,500)			
					MICE事業	DMOが軸となってMICEの特にミーティング＆インセンティブを取り込み、コンドミニアム活用やユニークベニュー、魅力的なコンテンツ創造を行うことで、地域の実益とDMOの育成につなげていく。	3,000 (5,000)			
					戦略的広報プロモーション事業	広報プロモーションを戦略的に行うため、専門スタッフの教育と発信力強化のための投資を行う。福祉厚生会社などのネットワークも活用し、企業の総務系へのアプローチ、メディア戦略、二次波及を期待した動画コンテンツの配信を行う。	1,750 (2,500)			
					合宿・教育旅行事業	合宿誘致・教育旅行受入により、宿泊の平準化に繋げ地域資源や受入環境を整えスポーツ合宿や教育旅行の誘致を行う事業費。	1,050 (1,500)			
					維持管理業務	山開き・スキー場安全祈願祭、ハイキングコース管理、ウィンターオープニングパーティ等のための経費。	581 (830)			
					交通事業	くっちゃんナイト号(夏・冬)、ニセコひらふ地区循環バス、スカイバスニセコの運行・周知・環境整備に係る経費。	42,450 (90,854)			
					コロナ対策事業	新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた観光業について、安心・安全な受入環境の整備やコロナ禍からの回復を見据えたプロモーション等のための経費。	3,000 (3,000)			
				ニセコエリア観光客受入体制整備事業	ニセコエリアの広域観光を推進するため、ニセコ観光圏を構成する近隣2町(ニセコ町・蘭越町)と連携した観光客実態調査や研修会事業、デジタル分野での情報発信・受入環境整備、着地での情報提供事業の下支えを行う。	8,642 (15,142)	7,900		742	
				内訳 ※内訳金額はニセコ観光圏協議会負担金の額および補助金の額	ニセコ観光圏協議会負担金 ※カッコ内の金額はニセコ観光圏において他町負担金や国の補助金を合算した実際の事業費	ニセコエリアに位置する蘭越町・ニセコ町・倶知安町及び各観光団体で構成するニセコ観光圏協議会を通じて、観光圏のプラットフォームである地域連携DMOのAI観光案内機能やニセコアプリを支援することで受入環境の整備を図る。また、バスロケーション情報提供機能の継続・強化について観光庁や北海道観光振興機構の事業と連動して取組む。このほか全国観光圏協議会関係事業、観光客満足度調査、ウィンタースタッフトレーニングなども行う。	6,642 (12,308)			
					観光客対応情報発信 ※カッコ内の金額は補助対象者において自主財源などを合算した実際の事業費	ニセコリゾートマップ発行やリゾートエリアにおけるマップ掲出による、現地での観光地情報提供に対する支援を行う。	2,000 (2,834)			

■令和5年度 宿泊税を財源とした事業一覧

単位（千円）

施 策	個 別 施 策	事 業 名	事 業 概 要	事 業 費	事業費の内訳			担 当 課
					宿泊税	その他特定財源	一般財源	
リゾートタウンとしての 魅力の向上	“観光インフラ”の 整備	観光パンフレット作成事業	ニセコ山系協議会で作成している「ニセコエクスプレス」の購入経費。観光案内施設や宿泊施設等に無料配布および設置するもの。	1,155	1,100		55	観光商工課
		ひらふ坂案内マップ更新	ひらふ坂歩道部分に設置している「ひらふ坂案内マップ」の時点更新経費。	100	100		0	
		観光施設維持管理事業	本町の観光施設の適正な維持管理を行い、観光客の受入環境を整える経費。ひらふスキー場第1駐車場・ひらふスキー場第3駐車場・サンスポーツランド臨時駐車場の除雪経費など。	12,639	11,500		1,139	
		ひらふスキー場第1駐車場安全管理事業	利用増や利用形態の変更に伴い狭隘化が進んでいるひらふスキー場第1駐車場において、誘導員を設置し利用者の安全を確保するための経費。	10,120	9,200		920	
		ニセコひらふ地区シンボルゲート形成事業	狭隘化が進み利用者の安全確保のためにも再整備が必要であるひらふスキー場第1駐車場について、令和4年度のサウンディング調査の結果を踏まえた周辺駐車場を含めた整備方針の改訂、公募資料となる現地状況調査や交通量調査のための経費。	37,147	3,000	33,849	298	
		集客観光イベント支援事業	本町の観光客集客のために実施する各種イベントに対して支援を行う(雪トピアフェスティバル、真夏のくっちゃん雪ダルマ、各種イベントPR特産品)。	3,780	3,400		380	
		ひらふ地域防犯カメラ等設置補助金	地域DMOである倶知安観光協会が進めているニセコひらふ地区の防犯カメラ設置に関する補助金	550	500		50	
		ニセコHANAZONOリゾート連絡交通補助金	日本ハーモニーリゾートが運行し、花園地区⇄ニセコひらふ地区の連絡交通の一部を担っているHANAZONOシャトルの運行支援を行う。	8,400	7,700		700	
		ひらふ地区ロードヒーティング事業	地元要望により拡幅設置したひらふ坂の歩道部分及び町道の一部分でロードヒーティングを行い、冬季間の観光客や歩行者の通行と送迎車等の走行の安全を確保する。	25,103	25,103	－	－	建設課
宿泊税の啓発徴収に係る経費等		宿泊税徴収事務事業	宿泊税を適正に徴収、納付管理を行うため、徴収管理システムなど事務事業費に充てる。また、共通納税対応のためのシステム改修も行う。	6,359	6,359	－	－	税務課
		宿泊税特別徴収義務者徴収奨励金	前年度の徴収額実績や申告納入状況に応じて、特別徴収義務者に徴収奨励金を交付する。	7,500	7,500	－	－	
			合 計	250,871	200,000	35,349	15,522	

※事業費及び事業内容は令和5年度当初予算時点のものである。地域DMOの事業内容や事業額は、国等の各種補助金の活用により年度途中での変動が見込まれる

倶知安町ホームページ
令和4年度宿泊税を財源とした事業一覧（決算額）

■令和4年度 宿泊税を財源とした事業一覧

施 策	個 別 施 策	事 業 名	事 業 概 要	事業費		決算における財源内訳			担 当 課		
				予 算 額	決 算 額	宿泊税	その他特定財源	一般財源			
リゾートタウンとしての 魅力の向上	“観光インフラ”の 整備	地域DMO支援事業	倶知安町における観光の旗振り役を担っていく地域DMO(倶知安観光協会)を下支えし、受入環境整備や観光人材育成、コロナ禍に対応した各種観光振興事業を行うほか、地域DMOの組織体制強化を図る。管理費の補助対象経費を定額補助し事業費の一定割合を補助。	78,978 (112,649)	77,911 (114,292)	基金繰入金 6,303 宿泊税繰入金 20,266	2,800	48,542	観光商工課		
		人件費	地域DMOの事務担当者の人件費。	19,700	18,424 (20,362)						
		事務費	地域DMOの事務経費や計画管理経費。	17,571	17,779 (18,023)						
		案内費	JR倶知安駅案内所およびニセコひらふウェルカムセンター案内所の運営経費。	6,210	6,211 (6,211)						
		着地型連携事業	繁閑差対策の中心となる夏季のサイクル・MTBコンテンツ開発やアドベンチャートラベルコンテンツ開発を通して、観光客の回遊・滞留を促すことで事業者横断的に地域全体の魅力を向上させる事業経費。	5,118 (7,310)	5,118 (6,513)						
		サステナブル事業	JクレジットによるCO2削減と森林保全、ガイド育成による観光客受入の質的向上や環境調査、レストランウィークによる観光の住民理解促進により、持続的な観光振興に資する事業経費。	3,500 (5,000)	3,500 (5,035)						
		サマーコンテンツ事業	繁閑差対策としてのサマーステイ事業費。ワーケーション事業と合わせて事業推進することで、ワーケーションの定着も図る。	2,400 (5,500)	1,500 (6,015)						
		MICE事業	繁閑差対策となるMICE誘致のうち、ミーティング & インセンティブを軸としたコンテンツ造成を行う経費。	1,200 (12,000)	2,100 (10,591)						
		戦略的広報プロモーション事業	※カッコ内の金額は地域DMOにおいて自主財源などを合算した実際の事業費 ダイレクトにゲストノメディアに対しアプローチできる広報体制を構築し、SNS活用や動画コンテンツ配信により戦略的なプロモーションを行う経費。	1,400 (2,000)	1,400 (2,042)						
		合宿・教育旅行事業	合宿誘致・教育旅行受入により、宿泊の平準化に繋げ地域資源や受入環境を整えスポーツ合宿や教育旅行の誘致を行う事業費。	770 (1,100)	770 (969)						
		維持管理業務	山開き・スキー場安全祈願祭、ハイキングコース管理のための経費。	336 (480)	336 (471)						
		ウィンターオープニングパーティー事業	ウィンターオープニングパーティー開催に係る経費。	245 (350)	245 (165)						
		交通事業	くっちゃんナイト号(夏・冬)、ニセコひらふ地区循環バス、エンターテイメント型バスの運行・周知・環境整備に係る経費。	17,700 (32,600)	18,300 (35,067)						
		コロナ対策事業	新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている観光業について、安心・安全な受入環境の整備やアフターコロナを見据えたプロモーション等のための経費。	2,828 (2,828)	2,228 (2,828)						
		ニセコエリア観光客受入体制整備事業	ニセコエリアの広域観光を推進するため、ニセコ観光圏を構成する近隣2町(ニセコ町・蘭越町)と連携した、観光客実態調査や研修会事業、デジタル分野での情報発信・受入環境整備、着地での情報提供事業の下支えを行う。	8,388 (21,661)	7,410 (16,891)	2,822	-	4,588	観光商工課		
		内訳 ※内訳金額はニセコ観光圏協議会負担金の額および補助金の額	観光客データ収集・分析、CRMデジタルマーケティング、AIチャットボット案内環境整備 ※カッコ内の金額は事業実施において他町負担金や国・道の補助金を合算した実際の事業費	PMS(宿泊施設管理システム)と連動した直近の観光客のデータ収集・分析、CRMを活用したニセコエリアにおける提供サービスと観光客の趣味・嗜好の把握を元にしたデジタルマーケティング、デジタル分野での受入環境整備であるAIチャットボットによる観光案内運用の下支えに係る経費。	4,302 (10,893)	4,302 (10,668)					
			ニセコ観光圏その他事業 ※カッコ内の金額はニセコ観光圏において他町負担金や国の補助金を合算した実際の事業費	近隣2町と連携してニセコ観光圏協議会で行う各種事業(全国観光圏協議会関係事業、観光客満足度調査、バスロケーション情報提供、ウィンタースタッフトレーニングなど)。	2,086 (6,902)	1,108 (3,389)					
			観光客対応情報発信 ※カッコ内の金額は補助対象者において自主財源などを合算した実際の事業費	ニセコリゾートマップ作成、webやアプリによる観光地情報提供に対する支援を行う。	2,000 (3,866)	2,000 (2,834)					
			ひらふ地区ロードヒーティング事業	地元要望により拡幅設置したひらふ坂の歩道部分及び町道の一部分でロードヒーティングを行い、冬季間の観光客や歩行者の通行と送迎車等の走行の安全を確保する。	14,529	21,022	15,605	-	5,417	建設課	
		宿泊税の啓発徴収に係る経費等	宿泊税徴収事務事業	宿泊税を適正に徴収、納付管理を行うため、徴収管理システムなど事務事業費に充てる。	3,080	3,080	3,080	-	-	税務課	
			宿泊税特別徴収義務者徴収奨励金	前年度の徴収額実績や納付状況に応じて、特別徴収義務者に徴収奨励金を交付する。	3,000	1,924	1,924	-	-		
					合 計	107,975	111,347	50,000	2,800	58,547	
								基金繰入金→	6,303		
						宿泊税繰入金→	43,697				

個別施策を展開するための事業概要

個別施策の展開は、各事業計画に基づきながら実施することで、倶知安町を訪れる国内外の観光客の満足度を向上させます。仮に、これらの施策を実施した場合、年間に要する事業費は約3億5千万円から4億円と推計します。

※具体的な事業については、毎年度の予算編成において確定します。

単位:千円

施 策	個 別 施 策	事 業 の 概 要	年 間 事 業 費
リゾート地としての質の向上 リゾートエリア・ニセコとして取り組み、リゾート地（エリア）としての質を向上させ、観光客の満足度を上げる	域内交通網の再整備	リフト会社・バス事業社・ニセコユナイテッドがバラバラに実施している域内交通の再構築を行い、国内外からの観光客が、目的に合わせて自由に好きな場所へエリア内を移動ができるように域内交通網を再構築する。 また、深刻な運転手不足を解消するため、羊蹄山麓の町村と連携して、バス、タクシーの運転資格の取得支援を行うほか、ICカード利用によって観光客の利便性を向上させるため読み取り機材の車載促進を支援する。	150,000
	ニセコ・羊蹄山の環境保全	ニセコのパウダースノーと羊蹄山の眺望があつてこそ、ニセコエリアがリゾート地として成立する。観光資源であるニセコ・羊蹄山の環境を恒久的に保全する取り組みとバックカントリーでのパウダースノーを満喫することを可能にしている『ニセコルール』を恒久的に維持継続するための体制強化、人材育成の支援を行う。 また、安全な山岳リゾートには欠かせないスキーバトロールや山岳ガイドの人材育成の支援を行う。	30,000
	安全・安心なリゾートの形成	安全・安心こそがリゾート地の基本であることから、国内外からの観光客が不快な思いをせずに余暇を楽しむことができるリゾート環境を作るため、防犯灯・防犯カメラの設置、臨時交番の設置のほか、もしもの時に備えた防災・防火対策を実施する。	30,000

個別施策を展開するための事業概要

単位:千円

施 策	個別施策	事 業 の 概 要	年 間 事 業 費
リゾート地としての魅力の向上	“観光インフラの整備”	○域内交通網の再整備を図るうえで、長年の課題となっている市街地とひらふ地区を結ぶ交通アクセスについても向上を図り、観光客の利便性を高める。また、ひらふ第一駐車場の再整備を契機にひらふ地区が抱える交通課題を合わせて解決する取り組みを実施する。 ○観光客を落胆させないように、倶知安町全体がリゾート地としてふさわしい自然環境と景観を保持するため、恒久的に保全する取り組みを行う。 ○全国的に深刻な人手不足のなか、観光施設だけではなく観光業を担う人材や観光プロモーションについても“観光インフラ”と捉え、観光ガイドや通訳、世界に通じるリゾート地に必要な世界水準の資格を持つ観光人材の育成支援を図る。また、国内外からの観光客の受入環境を整備するため、観光施設の整備やバリアフリー化などの改修、いつでも観光客が快適に施設を利用できるための維持・運営を実施するほか、世界各地のリゾート地を競争相手として意識したプロモーション活動を展開する。 ○本町の観光プロモーションやホスピタリティ、サイクルイベントの開催など観光活動の中核を担うDMO組織は、その事業・活動が財源や職員数に影響を受けやすい。しかしながら、町内の観光マンパワーが不足している状況では、DMO組織の果たす役割は大きく、本町が世界有数の山岳リゾートを目指して発展し続けるために、官民連携の観光施策は必要不可欠であることから、DMO組織の強化を図る支援を行う。	100,000
リゾートタウン・倶知安としての魅力を向上させ、観光客の満足度を上げる	新幹線を意識したまちづくり	2030年北海道新幹線・倶知安駅開通後、後志管内はもとより洞爺湖や室蘭などの西胆振を含めた広域観光の拠点として、2次交通のハブとなる交通ターミナル機能の設置やニセコエリアのゲイトウェイとして、新幹線の乗客が素通りせずに新幹線を下車して訪れたいような駅周辺の交流空間づくりに取り組む。	40,000

個別施策を展開するための事業概要（導入・運営事業）

単位:千円

施 策	事 業 の 概 要	年 間 事 業 費
宿泊税の導入・運営事業	宿泊税の特別徴収義務者に対して徴収奨励金を交付するほか、帳票・納付書など徴税費用に充てる。	30,000

令和3年度に宿泊税を活用した事業のご報告

福岡市内に宿泊された皆様の宿泊税を、九州のゲートウェイ都市としての機能や観光の魅力をさらに高めるために活用させていただきましたので、ご報告いたします。

「また福岡市にきたい」と思っていただけで、今後も観光・MICE振興に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いします。



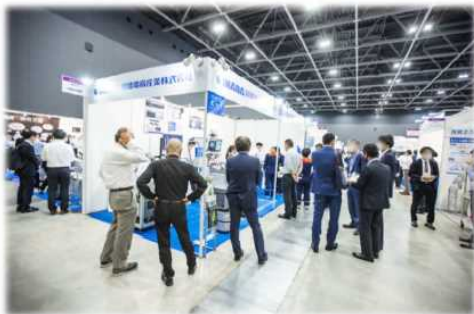
美術館前のデジタルサイネージ



地域資源を活用した
滞在コンテンツの造成



リモート観光案内
(福岡空港国内線)



マリンメッセ福岡B館で開催された
展示会の様子

※実施した事業の内容は次ページ以降にてご報告いたします。

<令和3年度 宿泊税充当事業のご報告> ※各事業費は最終ページに記載

宿泊事業者受入環境充実の支援《経済観光文化局》

宿泊事業者を対象とした『受入環境充実支援補助金』を引き続き実施し、多様な宿泊ニーズへの対応や、お客様の安全・安心に取り組む宿泊施設の受入環境の整備を支援しました。

令和3年度は、『利便性の向上』、『おもてなし力向上』、『災害対応強化』に向けた取組みが実施されました。(補助件数：47件)

<補助金を活用して導入されたもの>



バリアフリー整備

→階段部分にスロープを設置して、車いす等のお客様にもご利用いただきやすい環境が整備されました。



ホームページの多言語化

→英・中・韓の3か国に多言語化し、インバウンドのお客様に対する受入環境が整備されました。



災害対応強化

→ストレッチャーや備蓄用の毛布などを準備することで、災害時の安心・安全に繋がる取組みが実施されました。



Fukuoka East & West Coast プロジェクト

仕事も遊びも全力になれるまちを目指し、志賀島・北崎地区の海辺の魅力をさらに高め、地域の観光振興・活性化を推進する「Fukuoka East & West Coastプロジェクト」を進めました。



海辺を活かした観光振興(志賀島・北崎)《経済観光文化局》

<令和3年度の具体的な取組み>

- ・地域資源を活用した滞在コンテンツの造成
- ・サイクルツーリズムの促進に向けた、観光案内板の設置
- ・潮見公園展望台を活用したフォトスポット造成



地域資源を活用した
滞在コンテンツの造成



観光案内板の設置



潮見公園展望台
フォトスポット造成

海辺を活かした観光振興に向けた道づくり《道路下水道局》

<令和3年度の具体的な取組み>

- 志賀島地区：無電柱化に向けた設計
北崎地区：歩道美装化工事、無電柱化工事



北崎地区の美装化された歩道



デジタルサイネージを活用した情報発信の強化《経済観光文化局》

福岡城や博多旧市街など、エリア観光を推進するための観光プロモーション動画を制作し、新たに設置した市美術館デジタルサイネージ等で放映しました。



美術館前のデジタルサイネージ



観光プロモーション動画

博多旧市街プロジェクト《経済観光文化局》

博多部の価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、市民や来訪者に楽しんでもらえる環境を整え、エリア全体の魅力を高めていく「博多旧市街プロジェクト」に取り組みました。



<令和3年度の具体的な取組み>

- ・地下鉄祇園駅の副駅名に「博多旧市街口」を設定し、駅構内を装飾
- ・音声ARを活用したまち歩きガイドアプリのメニュー拡充
- ・地域や民間事業者と連携した「博多旧市街セレクション」のプロモーション



博多旧市街口(祇園駅)装飾



音声ARを活用した
まち歩きガイドアプリ

観光客等の移動円滑化施策の推進《交通局》

観光・ビジネス客の利用が多い地下鉄駅において、移動円滑化やバリアフリールート
の充実を図るため、エレベーターやエスカレーターを増設しました。

<令和3年度の具体的な取組み>

- ・博多駅筑紫口のエスカレーター設置工事
- ・天神駅東口のエレベーター設置工事



博多駅筑紫口エスカレーター
(令和3年9月供用開始)



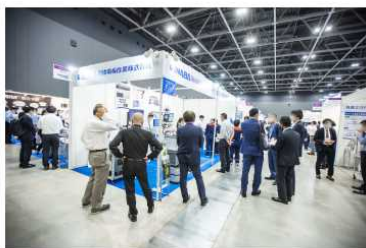
天神駅東口エレベーター
(令和3年10月供用開始)

国内を代表するMICE拠点の形成《経済観光文化局》

MICE拠点の形成を目指し、展示会を中心にコンサート・会議など多目的に
利用できるマリンメッセ福岡B館を整備し、供用を開始しました。



マリンメッセ福岡B館
(令和3年4月供用開始)



マリンメッセ福岡B館で開催された
展示会の様子

Withコロナ期におけるMICE誘致・支援事業《経済観光文化局》

MICE誘致強化のため、「Meeting Place Fukuoka」の体制強化等を実施し、
オンラインで国際見本市や商談会等に参加しました。

観光案内機能の強化事業《経済観光文化局》

ICTを活用した非対面・非接触のリモート観光案内システムを『福岡空港国内線』、
『博多駅総合案内所』、『天神ライオン広場』、『福岡国際会議場』の計4カ所に
導入しました。



福岡空港国内線



博多駅総合案内所



天神ライオン広場

Fukuoka City Wi-Fiの拡充《市長室、経済観光文化局》

国内外からの観光客の利便性向上を図ることを目的として、地下鉄駅等における
公衆無線LANのアクセスポイントを増設するなど、通信品質向上を図りました。

災害時の観光客対応強化事業《経済観光文化局》

観光情報サイト「よかなび」内における災害情報ページ（英語版）の作成や、
発災直後に宿泊施設が対応すべき内容をまとめた「緊急対応リスト」を作成しました。

持続可能な観光振興の検討《経済観光文化局》

今後の観光・MICE振興にかかる施策の検討・立案のため、交通結節点等における
来訪者のアンケート調査等を行いました。一部の調査結果については、宿泊事業者の
皆さまへ情報提供しました。

公衆トイレ環境の向上《環境局》

観光地周辺に立地する公衆トイレの洋式化等を行いました。

宿泊税の賦課徴収に要する経費《財政局》

宿泊税の円滑な賦課徴収のため、旅行者に向けた広報を行ったほか、
宿泊事業者の特別徴収に係る経費の一部を支援する報償金を交付しました。

令和3年度の宿泊税収入 1,110,598千円

令和3年度に宿泊税を活用して実施した事業 ※金額は事業費

令和3年度決算額：2,036,776千円（うち宿泊税充当額：867,357千円）

※宿泊税収入と充当額の差額は翌年度以降に実施する事業（繰越事業含む）に活用します。

（１）九州のゲートウェイ都市機能強化 1,470,245千円

国内を代表するMICE拠点の形成	1,396,086千円
観光案内機能の強化事業	16,473千円
Fukuoka City Wi-Fiの拡充	17,189千円
デジタルマーケティングを活用した回遊分析	16,133千円
九州広域連携誘客事業	4,662千円
デジタルサイネージを活用した情報発信の強化	19,701千円

（２）大型MICE等の集客拡大への対応 41,376千円

災害時の観光客対応強化事業	3,009千円
博多旧市街プロジェクト	10,025千円
生の松原元寇防塁集客促進事業	3,885千円（※）
繁華街対策事業	2,271千円
Withコロナ期におけるMICE誘致・支援事業	9,826千円
魅力あるナイトコンテンツの創出	2,361千円（※）
文化財を活用した魅力ある観光資源の創出	10,000千円

（３）地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進 473,864千円

宿泊事業者受入環境充実の支援	8,055千円
海辺を活かした観光振興（志賀島・北崎）	44,214千円
海辺を活かした観光振興に向けた道づくり	331,668千円（※）
観光客等の移動円滑化施策の推進	74,633千円（※）
持続可能な観光振興の検討	6,414千円
公衆トイレ環境の向上	8,879千円

（４）宿泊税の賦課徴収に要する経費 51,291千円

- ・（※）の事業は翌年度に繰越しを行いました。
- ・各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。

【お問い合わせ先】

福岡市 経済観光文化局 観光コンベンション部 観光産業課
 (TEL) 092-711-4353
 (MAIL) kankosangyo.EPB@city.fukuoka.lg.jp

令和4年11月作成

令和2年度に宿泊税を活用した事業のご報告

福岡市内に宿泊された皆様の宿泊税を、九州のゲートウェイ都市としての機能や観光の魅力をさらに高めるために活用させていただきましたので、ご報告いたします。

「また福岡市にきたい」と思っただけのよう、今後も観光・MICE振興に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いします。



北崎地区の美装化された歩道



博多駅筑紫口エスカレーター



A Iサーマルカメラ（ホテルロビー）



エリア散策用壁面マップ（祇園駅）

※実施した事業の内容は次ページ以降にてご報告いたします。

<令和2年度 宿泊税充当事業のご報告> ※各事業費は最終ページに記載

宿泊事業者受入環境充実の支援《経済観光文化局》

令和2年度のコロナ禍においても、年末年始や受験シーズンを前に、宿泊事業者が取り組む感染症対策をはじめとした、受入環境の充実に支援しました。

令和2年度は『宿泊・会食時の安全安心』、『災害対応強化や利便性向上』へ向けた取り組みが実施されました。（補助件数：74件）

<補助金を活用して導入されたもの>



アクリルパーテーション

→ホテル内の食事会場にて、衛生対策を徹底し、お客様へ安全・安心を提供されています。



A Iサーマルカメラ

→瞬時に検温できるため、お客様の安全・安心に加え、従業員の業務効率向上も図られています。



全自動カードクリーナー

→機械を通して消毒されたカードキーをお渡しすることで、安全・安心を提供されています。



非常用電源装置

→停電時にも電源供給ができる装置を導入し、災害に強い宿泊環境を整備されています。

Fukuoka East & West Coast プロジェクト

仕事も遊びも全力になれるまちを目指し、志賀島・北崎地区の海辺の魅力をさらに高め、地域の観光振興・活性化を推進する「Fukuoka East & West Coastプロジェクト」を進めました。



海辺を活かした観光振興に向けた道づくり《道路下水道局》

<令和2年度の具体的な取り組み>

- ・北崎地区の歩道美装化工事
- ・志賀島地区、北崎地区の無電柱化に向けた測量及び工事



北崎地区の美装化された歩道



フットライト

海辺を活かした観光振興(志賀島・北崎)《経済観光文化局》

<令和2年度の具体的な取り組み>

- ・サイクルツーリズムの促進に向けた、観光案内板やサイクルラックの設置(志賀島地区)
- ・地域資源を活用した滞在型プランの造成及びモデルコースの情報発信(北崎地区)



観光案内板



サイクルラック



モデルコース情報発信

観光客等の移動円滑化施策の推進《交通局》

観光・ビジネス客の利用が多い地下鉄駅において、移動円滑化やバリアフリールートの実施を図るため、エレベーターやエスカレーターの増設工事を実施しました。

<令和2年度の具体的な取り組み>

- ・博多駅筑紫口のエスカレーター設置工事
- ・天神駅東口のエレベーター設置工事



博多駅筑紫口エスカレーター
(令和3年9月供用開始)



天神駅東口エレベーター
(令和3年10月供用開始)

博多旧市街プロジェクト《経済観光文化局》

博多部の価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、市民や来訪者に楽しんでもらえる環境を整え、エリア全体の魅力を高めていく「博多旧市街プロジェクト」に取り組みました。



<令和2年度の具体的な取り組み>

- ・博多駅総合案内所に博多旧市街装飾を実施
- ・博多旧市街エリアへ誘導するための壁面マップや出入口誘導表示を地下鉄祇園駅に設置
- ・まちなみの雰囲気醸成するための灯籠制作



博多駅総合案内所



壁面マップ(祇園駅)



灯籠

国内を代表するMICE拠点の形成《経済観光文化局》

コンベンションゾーンにおいて、MICE拠点の形成を目指し、展示会を中心にコンサート・会議など多目的に利用できるマリンメッセ福岡B館の整備等に取り組みました。



マリンメッセ福岡B館
(令和3年4月1日開館)



マリンメッセテラス
(大屋根広場)

宿泊税の賦課徴収に要する経費《財政局》

宿泊税の円滑な賦課徴収のため、旅行者に向けた広報を行ったほか、宿泊事業者の特別徴収に係る経費の一部を支援する報償金を交付しました。



<令和2年度の広報実績>



柱シート広告
(福岡空港)



エアポートバス広告
(福岡空港～博多・天神)



地下鉄車内広告
(全線)

Fukuoka City Wi-Fiの拡充《市長室、経済観光文化局》

国内外からの観光客の利便性向上を図ることを目的として、Fukuoka City Wi-Fiのアクセスポイントを増設するなど、通信品質向上を図りました。



福岡市美術館



福岡市博物館



福岡市アジア美術館



福岡市地下鉄(8駅)

観光案内機能の強化事業《経済観光文化局》

コロナ禍における観光客の新たなニーズである「安全・安心」に対応するため、デジタルを活用した非対面・非接触によるリモート観光案内の実証事業を実施しました。

災害時の観光客対応強化事業《経済観光文化局》

観光情報サイト「よかなび」内に災害情報ページを作成したほか、観光案内所に非常用電源を設置するなど、災害時の観光客対応強化に向けた取り組みを実施しました。

生の松原元寇防塁集客促進事業《経済観光文化局》

歴史的観光資源として価値のある、生の松原元寇防塁の集客促進を図るため、受入環境の整備を推進しています。

令和2年度は、見学者用駐車施設を整備するための用地取得を行いました。

繁華街対策事業《市民局》

観光客が安全・安心に過ごすことができる環境の充実を図るため、客引きが集まりやすい場所や交差点付近に街頭防犯カメラを11台設置しました。

(天神・大名地区：6台、博多駅筑紫口地区：5台)

令和2年度の宿泊税収入 685,300千円

令和2年度に宿泊税を活用して実施した事業 ※金額は事業費

令和2年度決算額： 754,614千円 （うち宿泊税充当額： 433,803千円）

翌年度繰越事業費： 300,124千円 （うち宿泊税充当額： 84,517千円）

(1) 九州のゲートウェイ都市機能強化 386,734千円

国内を代表するMICE拠点の形成・・・・・・・・・・ 312,230千円

観光案内機能の強化事業・・・・・・・・・・ 15,827千円

Fukuoka City Wi-Fiの拡充・・・・・・・・・・ 58,677千円

(2) 大型MICE等の集客拡大への対応 43,146千円

災害時の観光客対応強化事業・・・・・・・・・・ 3,702千円

博多旧市街プロジェクト・・・・・・・・・・ 19,536千円

生の松原元寇防塁集客促進事業・・・・・・・・・・ 10,195千円

繁華街対策事業・・・・・・・・・・ 9,714千円

(3) 地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進 244,390千円

宿泊事業者受入環境充実の支援・・・・・・・・・・ 18,985千円

海辺を活かした観光振興に向けた道づくり・・・・・・・・ 201,260千円 (※)

海辺を活かした観光振興(志賀島・北崎)・・・・・・・・ 6,674千円

観光客等の移動円滑化施策の推進・・・・・・・・・・ 17,471千円 (※)

(4) 宿泊税の賦課徴収に要する経費 80,343千円

・ (※)の事業は新型コロナウイルス等の影響により、年度内に工事が完了しなかったため、翌年度に繰越しを行いました。

・ 各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。

【お問い合わせ先】

福岡市 経済観光文化局 観光コンベンション部 観光産業課

(TEL) 092-711-4353

(MAIL) kankosangyo.EPB@city.fukuoka.lg.jp

令和3年11月作成

観光やMICE等によるにぎわい創出

新規

宿泊税を活用した観光振興

戦略① 都市イメージ戦略

北九州市＝観光都市とするための
ブランディング

○メディアを活用した北九州観光PR展開

戦略② 観光資源の発掘・磨き上げ

北九州市ならではの地域資源の観光資源化

○小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ

○皿倉山プレミアム夜景創出



戦略③ セールスプロモーション

本市の魅力を伝えるためのセールス
プロモーション

○修学旅行などの団体客誘致促進

○日本新三大夜景都市と産業観光

コラボレーション

○北九州空港新規路線就航促進



戦略④ 受け入れ態勢の整備

観光客がストレスフリーで観光を楽しめる
環境の整備

○観光案内機能強化

○商店街満足度向上

○北九州空港アクセス推進

○宿泊施設等改修支援



戦略⑤ MICE戦略（都市型集客）

MICE戦略を強化し、都市型集客を促進

○MICE開催助成



戦略⑥ インバウンド戦略（海外からの誘客）

アジアを中心とした誘客を促進

○インバウンド誘致強化

○海外ウェブサイトを活用した
戦略的インバウンド誘致



3 | 宿泊税を活用してこれまで講じてきた観光施策

宿泊税を活用した施策一覧

	予算額 (決算額)	主な事業内容
令和2年度	275,000千円 (決算額 128,975千円)	【観光資源の発掘、磨き上げ、受入環境の整備】 ・小倉駅観光案内所のリニューアル ・メディアを活用した観光のPR ・修学旅行など団体客誘致
令和3年度	313,000千円 (決算額 258,970千円)	【コロナの影響に苦しむ宿泊事業者、旅行業者等への支援、需要回復に向けた受け入れ環境整備、日本新三大夜景都市再認定に向けた取組強化】 ・OTAを活用した宿泊キャンペーン ・デジタルサイネージ設置などによる観光案内機能強化 ・夜景の景観整備やイベント・PRの強化
令和4年度	360,000千円	【コロナをきっかけとして生まれた新たな需要への対応、夜景・産業観光等強みを活かしたプロモーション、持続可能な観光に向けた観光関連施設の整備】 ・観光モデルコースの造成、モニターツアーの実施 ・八幡東田地区から市内各所へ周遊モデル事業 ・ワクチン検査パッケージを活用した宿泊・観光助成

3 | 宿泊税を活用してこれまで講じてきた観光施策

令和2年度の主な取組

●実施事業の考え方

北九州市宿泊税調査検討会議から提案があった3つの考え方

1. 北九州市観光振興プランに基づく施策に充当する
 2. 今後の観光動向や、九州全体における北九州市の役割を踏まえた施策に活用する
 3. 既存施策への単純な充当は行わない
- をベースとし、観光振興プランの基本戦略に沿った取組を展開していく。

戦略1 都市イメージ戦略 【予算】事業費：20,000千円、充当額：20,000千円 【決算】事業費：20,000千円、充当額：20,000千円 北九州市＝観光都市とするためのブランディング ◇メディアを活用した北九州観光PR展開事業 ・地元テレビの情報番組内レギュラーコーナーでの観光PRやイベントの告知等（年間24回）	
戦略2 観光資源の発掘・磨き上げ 【予算】事業費：22,000千円、充当額：17,500千円 【決算】事業費：19,477千円、充当額：15,479千円 北九州市ならではの地域資源の観光資源化 ◇小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ事業 ・大河ドラマと連動した企画展や講演会等の実施 ・しろテラスのフリーWi-Fi整備 ◇皿倉山プレミアム夜景創出事業 ・年間を通した皿倉ケーブルの夜間運行 ・ホテルと連携したシャトルバスの運行 ・イベント「皿倉プレミアム夜景の日」の実施	
戦略3 セールスプロモーション 【予算】事業費：45,000千円、充当額：38,500千円 【決算】事業費：35,627千円、充当額：30,183千円 本市の魅力伝えるためのセールスプロモーション戦略 ◇修学旅行などの団体客誘致促進事業 ・宿泊や体験メニューに対する助成 ◇日本新三大夜景都市と産業観光コラボレーション事業 ・体験型産業観光素材を活用したツアーの開発 ・日本新三大夜景都市を活用したマスコミ（テレビ、雑誌）でのプロモーション ◇北九州空港新線建設就航促進事業（拡充） ・旅行社やマスコミを対象とした団客ツアーの実施	
その他経費（システム管理経費等） 【予算】事業費：23,659千円、充当額：19,200千円 【決算】事業費：14,680千円、充当額：9,185千円	



◎予算	総事業費 455,459千円 【うち宿泊税充当額 275,000千円】
◎決算	総事業費 281,746千円 【うち宿泊税充当額 128,975千円】

戦略4 受け入れ体制の整備 【予算】事業費：257,800千円、充当額：108,300千円 【決算】事業費：134,339千円、充当額：21,363千円 観光客がストレスフリーで観光を楽しめる環境の整備 ◇観光案内機能強化事業 ・北九州総合観光案内所（小倉駅）の改修 ・交通結節点のフリーWi-Fi整備（小倉駅） ◇商店街満足度向上事業 ・商店街でのキャッシュレス環境整備の促進 ◇北九州空港アクセス推進事業（拡充） ・空港連絡バス（小倉便）の増便（38往復⇒48往復） ◇宿泊施設等改修支援事業 ・宿泊施設改修費の助成制度	
戦略5 MICE戦略（都市型集客） 【予算】事業費：24,000千円、充当額：24,000千円 【決算】事業費：19,722千円、充当額：19,722千円 MICE戦略を強化し、都市型集客を促進する ◇MICE開催助成（拡充） ・宿泊につながるMICE開催経費の支援	
戦略6 インバウンド戦略 【予算】事業費：62,000千円、充当額：51,500千円 【決算】事業費：18,305千円、充当額：14,084千円 アジアを中心とした海外からの誘客を促進 ◇インバウンド誘致強化事業 ・団体旅行客向け宿泊助成 ・他都市と連携した「エクスベディア」等の欧米圏に向けた海外オンライン旅行社への記事掲載 ・外国人の個人観光客向けの日帰りバスツアーの実施 ・外国人観光客向けの食サイトの運営 ◇海外ウェブサイトを活用した戦略的インバウンド誘致事業 ・動画コンテンツの制作及び配信 ・他都市と連携した、ウェイボーへのインフルエンサー動画配信、マフォーウオー等への記事掲載、Ctripへの情報掲載といった中国向け「ワンストッププロモーション」の実施	

3 | 宿泊税を活用してこれまで講じてきた観光施策

令和3年度の主な取組

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ宿泊事業者・旅行業者等への支援を実施する。
- ・観光需要の回復を見据え、必要な受入環境整備を行う。
- ・日本新三大夜景都市再認定へ向けた取組を強化する。

◎予算：総事業費774,982千円【うち宿泊税充当額313,000千円】

◎決算：総事業費838,811千円【うち宿泊税充当額258,970千円】

●宿泊事業者等への支援

- ・OTAを活用した宿泊キャンペーン事業
旅行予約サイト（OTA）を活用して、客室を割安で販売し、市が差額を助成するキャンペーンを実施
- ・北九州市旅行商品造成助成事業
市内での宿泊を伴う商品や、市内観光施設への入場・食事が含まれる商品を作成した旅行社に対し助成金を支給
- ・修学旅行などの団体客誘致促進事業
宿泊を伴う団体客の誘客を図るため、エージェント向けの宿泊助成等を実施
- ・宿泊施設等改修支援事業
宿泊客の受入環境を充実させるためのバリアフリー化などの施設改修費を支援

【予算】事業費 128,000千円、充当額 128,000千円

【決算】事業費 193,804千円、充当額 79,675千円

●受入環境の整備

- ・観光案内機能強化事業
新たに完成する小倉駅3F北九州総合観光案内所の運営機能強化を行うとともに、ペDESTリアンデッキにデジタルサイネージを設置
- ・北九州国際展示場施設整備事業
世界体壇・新体壇2021に向け、新体壇会場となる展示場の改修を実施
- ・観光地の「まちあるき」満足度向上整備支援事業
門司港レトロ地区で無料Wi-Fiやデジタルサイネージを整備

【予算】事業費406,700千円、充当額 54,600千円

【決算】事業費427,066千円、充当額 84,683千円

●日本新三大夜景都市再認定への取組

- ・皿倉山頂夜景観望整備事業
本市を代表する夜景観望地である皿倉山において、夜間観光を楽しめる景観を整備
- ・施設ライトアップ整備事業
夜景観光を推進するため小倉城庭園・国際会議場のライトアップを整備
また小倉城庭園の魅力を更に高めるための展示改修も実施
- ・皿倉山プレミアム夜景創出事業
山頂展望台でのレーザーショーや無料シャトルバスの運行
- ・日本新三大夜景都市と産業観光コラボレーション事業
夜景に関する全国的なコンベンションの誘致や夜間イベントを開催し、本市の夜景の魅力をPRを更に強化
- ・夜景モニターキャンペーン事業
夜景観光士・夜景観光関係者を対象に、本市の夜景スポットを無料で利用できるパスポートを配布し、本市夜景観光のPRを強化

【予算】事業費 116,500千円、充当額 30,900千円

【決算】事業費 116,162千円、充当額 27,905千円

●その他観光振興事業

- ・メディアを活用した北九州観光PR展開事業
- ・インバウンド誘致強化事業
- ・小倉城周回歴史文化観光ルネサンス事業
- ・MICE誘致推進強化事業（拡充）
- ・北九州空港誘客強化対策事業
- ・北九州空港新規路線就航促進事業 等

【予算】事業費99,500千円、充当額 89,000千円

【決算】事業費83,092千円、充当額 61,358千円

その他（システム管理経費等）

【予算】事業費24,282千円、充当額10,500千円

【決算】事業費18,687千円、充当額 5,349千円

3 | 宿泊税を活用してこれまで講じてきた観光施策

令和4年度の主な取組

- ・コロナをきっかけとして生まれた新たな観光需要への対応
- ・本市の強み（夜景・産業観光）を活かした誘客プロモーション
- ・コロナ禍を乗り切るための宿泊事業者・旅行者等への支援の継続
- ・持続可能な観光に向けた観光関連施設の整備

総事業費495,660千円
【うち宿泊税充当額 360,000千円】

●新たな観光需要への取組

- ・北九州「新たな旅のスタイル」促進事業
市内観光周遊のための観光モデルコースを造成し、PRやモニターの実施
- ・八幡東田発！市内周遊観光創出事業
八幡東田地区に訪れる観光客を市内各所へ周遊するため、インフォメーション機能の強化や周遊モデル事業の実施
- ・インバウンド誘致強化事業
オンライン商談会やメディア・旅行社等FAMツアーなどのプロモーションや広報物の多言語化など受入環境整備の実施
- ・日本遺産「関門「ノスタルジック海峡」」PR事業
日本遺産のオンラインツアーの造成やデジタルスタンプラリーの実施

事業費 133,500千円 （宿泊税充当額 69,250千円）

●夜景ブランド・産業観光を活かした誘客プロモーション

- ・日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業
「日本新三大夜景都市」ブランドを活かした旅行会社へのプロモーションや観光客向け夜景イベントの実施
- ・皿倉山プレミアム夜景創出事業
山頂展望台付近でのイルミネーションや駅・ホテルを経由する無料シャトルバスの運行
- ・全国産業観光フォーラムin北九州開催事業
国内最大のフォーラム「全国産業観光フォーラム」の誘致や産業観光協力事業所へのオンライン見学整備費等の一部助成
- ・門司港レトロ・和布刈地区にぎわい創出事業
夜景やイルミネーションを活用した「夜の賑わいイベント」などの実施



事業費 40,500千円 （宿泊税充当額 26,750千円）

●宿泊事業者等への支援

- ・北九州安全・安心の旅応援事業
ワクチン検査パッケージを活用した料金割引を行う宿泊施設及び旅行社に対して助成金の支給
- ・修学旅行などの団体客誘致促進事業
宿泊を伴う団体客の誘客を図るため、エージェンツ向けの宿泊助成等の実施
- ・宿泊施設等改修支援事業
宿泊客の受入環境を充実させるための施設改修費の支援



事業費 132,300千円 （宿泊税充当額 132,300千円）

●持続可能な観光に向けた観光関連施設の整備

- ・血倉山周辺施設長寿命化推進事業
- ・小倉城結構基本計画及び耐震補強計画策定事業
- ・和布刈地区観光拠点化推進事業

事業費 73,700千円
（宿泊税充当額 38,900千円）

●その他観光振興事業

- ・次期観光振興プラン策定事業
- ・MICE誘致推進強化事業
- ・北九州空港誘致強化対策事業

事業費 100,300千円
（宿泊税充当額 85,300千円）

その他（システム管理経費等）事業費 15,300千円 充当額 7,500千円

宿泊税の活用

更新日: 2023年3月30日 ページID: 040159

都市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進するとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てることを目的とし、令和5年4月1日から宿泊税を導入しました。

[宿泊税の詳細についてはこちら](#)

宿泊税の使途の分類

宿泊税は、「訪問客への還元」を方針とし、「利便性」「満足度」「再訪意欲」の向上につながる事業に活用します。使途の分類である「5つの柱」(宿泊税賦課費を除く)に基づき、1～5の順位で活用します。

1.サービス向上・消費拡大 サービス向上により、訪問客の滞在時間や消費機会が拡大することで満足度の向上につなげる事業として、主に長崎ならではの朝型・夜型の体験コンテンツの充実に取り組む
2.情報提供 ICTなどを活用し、訪問客が求める情報を適時提供し満足度の向上に繋げる事業として、主にワンストップの情報提供に取り組む
3.受入環境整備 施設等の受入れ環境を整え、訪問客の利便性や満足度の向上に繋がる事業として、「観光案内所運営」や「無線LAN」などの整備に取り組む
4.資源磨き 資源の磨き上げや施設の活用により、訪問客の満足度を向上させる事業として、主に観光施設のライトアップ整備やユニークベニューの利活用支援事業に取り組む
5.緊急時の対応等 基金を積み立て、その基金を国内外の人々の交流を促進し、観光需要の回復及び喚起を図るための事業(観光キャンペーン等)に充当
宿泊税賦課費 宿泊税周知に係る広告費や賦課システム等に要する費用

令和5年度の宿泊税活用事業

 [令和5年度の宿泊税活用事業 \(PDF形式 908キロバイト\)](#)

ダウンロード

 [令和5年度の宿泊税活用事業 \(PDF形式 908キロバイト\)](#)

PDFファイルの閲覧には、[Adobe Reader](#)([無料](#))が必要です。

お問い合わせ先

観光案内

平和・原爆

国際情報

「観光案内」の分類

[イベント](#)
[長崎市公式観光サイト](#)
[2つの世界遺産があるまち](#)
[観光・文化的施設](#)
[レジャー施設](#)
[長崎の食を味わう](#)
[長崎/夜景](#)
[クルーズ客船入港情報](#)
[まちあるき観光「長崎さくら」](#)
[長崎の魅力情報満載のWebマガジン「ナガジン」](#)
[おもてなし](#)
[合併地区の魅力](#)
[観光統計](#)
[交通アクセス](#)
[宿泊税の活用](#)

長崎市ホームページより

[文化観光部 観光政策課](#)

電話番号: 095-829-1152

ファックス番号: 095-829-1232

住所: 〒850-8685 長崎市魚の町4-1 (14階)

アンケート

- ☐ 分かりやすかった
- ☐ 探しにくかった
- ☐ 知りたい内容が書かれていなかった
- ☐ 聞き慣れない用語があった

▶ 回答する

より良いホームページにするために、ご意見をお聞かせください。[コメントを書く](#)

HOME > 観光案内 > 宿泊税の活用 > 宿泊税の活用

[個人情報の取り扱い](#)

[著作権・リンク・免責事項](#)

[ホームページの著作権広告掲載について](#)

長崎市役所 〒850-8685 長崎県長崎市魚の町4-1 電話番号:095-822-8888(代表)

開庁時間:午前8時45分～午後5時30分(土・日祝日・12月29日～翌年1月3日を除く)

施設・部署によって異なる場合があります

▶ ページトップへ戻る

[スマートフォン版](#)

令和5年度の宿泊税活用事業

3億7,233万7千円

①サービス向上・消費拡大 53,395千円 (事業費 94,146千円)

○観光地域づくり推進費

- ・サステナブルツーリズムの提供
- ・体験商品・長崎グルメ情報の提供
- ・店舗情報の充実 (Google Business Profileの活用)

○長崎さるく推進費

- ・長崎さるくの情報発信、ガイド研修

○ナイトタイムエコノミー推進費



②情報提供 141,633千円 (事業費 203,924千円)

○観光地域づくり推進費

- ・観光ワンストップサイトにおける情報提供
- ・デジタル広告等による訴求プロモーション

○シーボルト来日200周年記念事業費

- ・記念事業における広報プロモーション

○世界・日本新三大夜景推進費

- ・日本新三大夜景情報発信



③受入環境整備 44,193千円 (事業費 136,123千円)

○観光地域づくり推進費

- ・市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成
- ・MICE向けコンテンツの充実

○世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」

- ・グラバー園 旧三菱第2ドックハウス (世界遺産ガイダンス施設)
デジタル映像導入等による展示リニューアル

○総合観光案内所運営費



⑤緊急時の対応等 111,312千円

○観光交流基金積立金

●宿泊税賦課費 21,804千円 (事業費 21,816千円)

○宿泊税周知に係る広告費や賦課システム等